

イメージングを用いたがん幹細胞の性状解析

佐谷 秀行

慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門

近年、がん組織は性質の異なった細胞によって構成される不均一な集団であることが明らかになってきた。がん組織も正常の組織同様に幹細胞様細胞を開始点とする階層性が存在し、それが不均一な集団を構成する重要な原因となっている。その頂点の細胞たるがん幹細胞は、既存の抗がん剤や放射線治療に抵抗性を示しこれらの細胞を破壊することが根治を目指すためには必須である。

私達の研究室では、がん幹細胞の生体内での挙動や生化学的特性を明確にするために、各種の画像解析技術を用いている。本講演では、実際に行ったイメージングの結果を供覧し、その結果明らかになったがん幹細胞の性状について述べてみたい。